

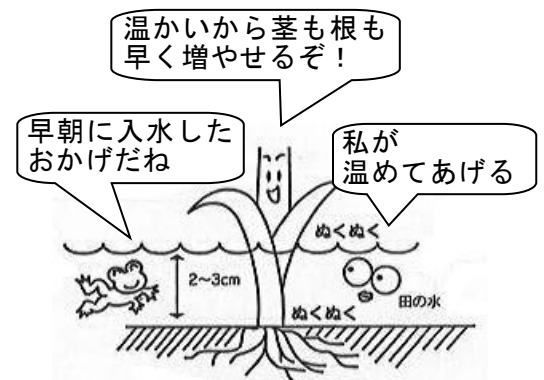
農作業特報

魚津市
魚津市農業技術者協議会

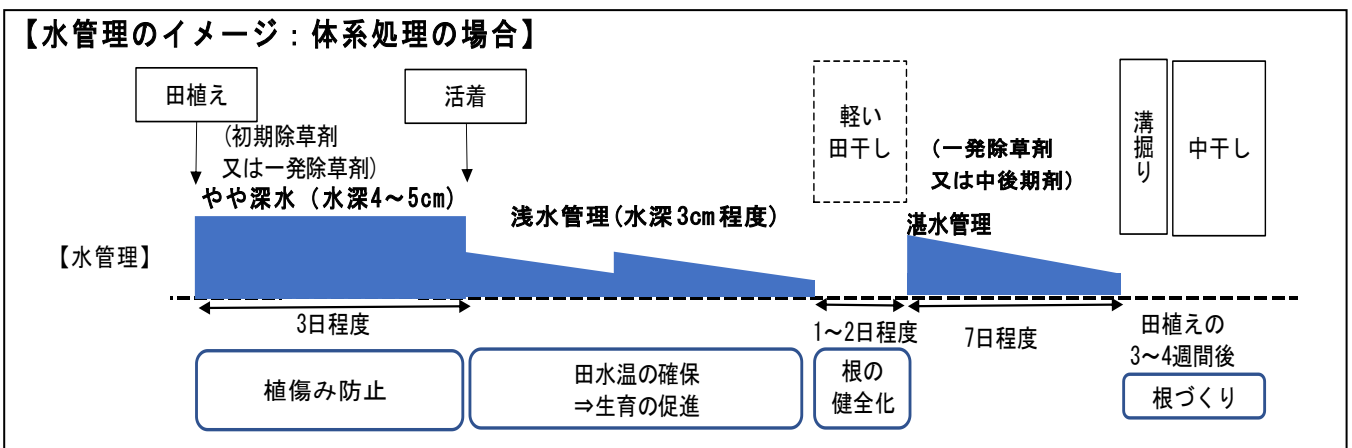
品質の良い米を安定して生産するには、初期生育の確保による『穂数型稲』と適切な中干しによる『根づくり』が重要となります。
生育期に応じた水管理の実践により、気象変動に強い稲を目指しましょう。

1. 水管理

- 田植後は植傷みを防ぎ、湛水による保温効果が高めるため、**やや深水（水深4～5cm）**としましょう。
- 活着後（田植後3日後程度）は、**浅水管理（水深3cm程度）**を徹底し初期生育の促進を図りましょう。
- **入水は、朝または夕方**に行い、**日中は止め水**にして水温を高め、**分けつ（新しい茎）の発生**を促しましょう。
- 田のワキや藻が発生した場合は、**水の入れ替え**や**軽い田干し**を行い、根に酸素を与えましょう。
- 軽い田干しは、風の穏やかな温かい日に行いましょう。
 [
 - ・ 一発除草剤を散布済みの場合 → 軽い田干しは散布後7日以降に
 - ・ 中期除草剤を散布予定の場合 → 軽い田干しは散布前に
]
- × チラ干しは、苗の傷みや雑草の発生が懸念されるため、厳禁です。
- × 深水では、水温が上がりやすく、分けつの発生が少なめで軟弱徒長ぎみになります。



<初期生育の良い稲>



農業用水路への転落事故に気を付けて!!

2. 溝掘り

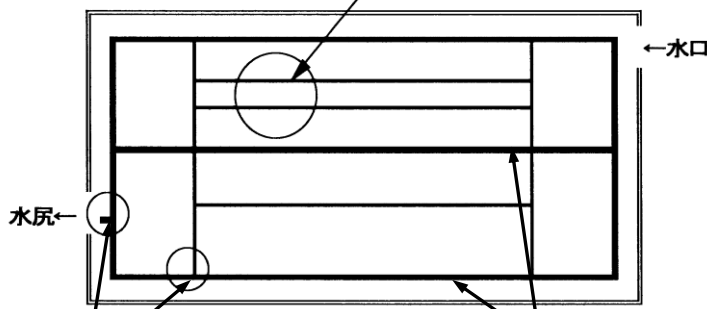
ほ場全体の入水・排水を考慮して設置しましょう

- 中干しの効果を高めるため、6月初旬までに溝掘りを行いましょう。
- 溝掘り前に軽い田干しを行い、土を落ち着かせた後に設置しましょう。

（設置の目安は『額縁』＋『5m程度の間隔に1本』。
 “水の溜まっているところ”や“乾きにくいところ”は重点的に。）

- 掘った溝は、確実に水尻（排水口）と連結しましょう。

水がいつも溜まっている所（停滞水）や乾きにくいところは重点的に！



掘った溝は、排水溝
にしっかりつなぐ！

ほ場周囲と中央の1本は特にしっかりと掘る

3. 中期除草剤の使用のポイント

薬剤名	処理時期	使用量	使用上の注意点
★アクシズMX 1キロ粒剤	田植後 20日～ ノビエ 4葉期まで (収穫 45日前ま で)	1kg/10a	・田植 7日後から使用できますが、 <u>薬害を回避するため、田植え 20日後から使用</u> してください。 ・30℃以上の高温が予想される場合は使用しない。
★テッケン ジャンボ	田植後 15日～ ノビエ 4葉期まで (収穫 60日前ま で)	500g(10パック) /10a	・水深6cm以上の深水状態にして、ほ場にパ ックを均等に投げ入れる。 ・藻が多発しているほ場では使用しない。 ・30℃以上の高温が予想される場合は使用 しない。

★「やまだわら」には、上記の中期除草剤は使用しないでください（薬害が発生する可能性有り）。
 中期除草剤を「やまだわら」に散布する場合は、地区担当の営農指導員に相談してください。

- 散布前に、軽い田干しや水の入れ替えを行いましょう。
- 『大雨』や『30℃以上の高温』が予想される場合は、除草剤を散布しないでください。
- 散布時は田面が見えない程度の深水とし、散布後7日間は「止め水」を保ち、落水やかけ流しはやめましよう。

除草効果を高めるため、適期散布を行うとともに、湛水状態を保ちましよう

農薬の散布時は、隣接ほ場や住宅地周辺などへの飛散防止に努めましよう。

「富山県農薬危害防止運動展開中 4/1～9/30」